

平成23年度

施政方針

開かれた町政運営を目指して



中崎町長は、2月18日の町議会本会議において、平成23年度の施政方針演説を行い、「医療」、「福祉」、「教育」、「産業」、「まちづくり」の政策や事業を実現させていかなければならないと熱い思いを述べ、強い決意を表明しました。

なお、施政方針の内容は、町民情報コーナーや町ホームページでご覧いただけます。

町政運営の基本的な考え方（抜粋）



情報を開示、共有し、話したことの大切さをいつも心に持ち、町民の皆様から経験と英知をいただき、町民が心を一つにして目的を達成していかなければなりません。

そのためには、これまでに取り組んできた事業などについて、目的や採算性、実現性などの内容を精緻に検討した上で、継続していく事業や見直しを図る事業について、皆様とともに考えていきたいと思っています。

また、公約として掲げた「医療」、「福祉」、「教育」、「産業」、「まちづくり」における政策や事業を実現していくとともに、山積している課題や問題などを一歩一歩、議会とともに町民の皆様のご理解を得ながら具体化して

いかなばなりません。

厳しい財政の中ではありますが、踏み出さなければ何もできません。財政の健全化や地域経済の発展、また、少子高齢化が進む中、安心して暮らせるまちづくりのために邁進していく所存であります。

【医療】

保健師や栄養士などが町内24地区に出向き、健康相談などを行う「おあしす24」を実施するとともに、中郡医師会などの関係機関や平塚市、二宮町と連携を図りながら、一次、二次救急医療体制の維持とネットワークの充実を図ってまいります。

【福祉】

「第4期大磯町高齢者福祉計画」に基づき、ひとり暮らしの高齢者の方等に対する「緊急通報システム」など、在宅高齢者支援事業を進めてまいります。

また、低所得者に対する住宅対策といたしまして、町営月京住宅の建替事業を進めていくとともに、バリアフリー基本構想に基づき、だれもが安全で快適に移動できるようなまちを目指し、事業を進めてまいります。

【教育】

施設整備として、国府中学校と大磯小学校のグラウンド改修に着手してまいります。

保育園の待機児童解消を目指し、民間保育園である「サンキッズ大磯」の園舎の増改築に対する助成を行うとともに、駅周辺における保育の設備についての検討も行ってまいります。

【産業】

農作物の被害が深刻化しているため、イノシシなどの有害鳥獣対策として、農家の自衛策に対する支援制度の創設や捕獲器の増設を行うとともに、他地域での実施成功例を参考にしながら効果的な対策を講じてまいります。

【まちづくり】

まちづくり交付金を活用して幹線22号線及び幹線27号線の整備事業や幹線28号線の歩道整備事業など、西部地区の道路を重点に道路網の整備を進めてまいります。

◎問い合わせ

政策課 ☎内線205